

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 H C プライマー N B 主剤 (通年用)

会社名 保土谷建材株式会社

住所 〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目 9 番 2 号

担当部門 技術部

電話番号 03-6852-0478 FAX 番号 03-6274-5826

メールアドレス hcp@hodogaya.co.jp

緊急連絡先 03-6852-0478 弊社

奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用塗材 等)

整理番号 H - 6 - 5

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体	区分 1
急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (吸入)	区分 4 (蒸気)
急性毒性 (経皮)	分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

- ・ 極めて引火性の高い液体および蒸気
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

- ・ 強い眼刺激
- ・ 吸入すると有害
- ・ 吸入するとアレルギー、喘息、呼吸困難を起こすおそれ
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 眠気やめまいのおそれ
- ・ 発がんのおそれの疑い
- ・ 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

[予防策]

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 容器を接地すること／アースをとること。
- ・ 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・ 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- ・ 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

[対応]

- ・ 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- ・ 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 火災の場合：消火に粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂を使用すること。

[保管]

- ・ 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- ・ 施錠して保管すること。

[廃棄]

- ・ 内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 製品は混合物
化学名 NCO基末端ウレタンプレポリマー
一般名 ウレタン樹脂プライマーの主剤

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
酢酸エチル	65～75	$\text{CH}_3\text{COOC}_2\text{H}_5$	(2)-726
トリレンジイソシアネート	1未満	$\text{CH}_3\text{C}_6\text{H}_3(\text{NCO})_2$	(3)-2214

成分	CAS No.	化学物質管理促進法 第1種指定化学物質	労働安全衛生法 通知対象物質
酢酸エチル	141-78-6	非該当	該当
トリレンジイソシアネート	26471-62-5	(1%以上は該当)	該当

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、直ちに、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用し十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

眼に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・人が自発的に吐くことが可能ならば吐き出させる。他人が無理に吐かせてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。
使ってはならない消火剤： 棒状水
特定の消火方法： 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護： 適切な保護具(耐熱着衣等)を使用し風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項： 河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
封じ込め及び浄化の
方法及び機材： 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量流出の際には、盛り土で囲って流出を防止する。流出物はスコップなどで密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
二次災害の防止策： 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。

注意事項 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。

安全取扱い注意事項

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。使用済みウエス、防水材かす等は廃棄するまで水につけておく。

保管：

適切な保管条件

- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・火気厳禁。
- ・直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。
- ・保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。

安全な容器包装材料 石油缶など。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置の設置を行う。取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

物質名	濃度	
管理濃度： 酢酸エチル	200ppm	
トリレンジ イソシアネート	0.005ppm	
	日本産業衛生学会	ACGIH
許容濃度： 酢酸エチル	200ppm, mg/m ³	TWA 400ppm
トリレンジ イソシアネート	0.005ppm、0.02ppm	TWA 0.005ppm
	0.035mg/m ³ 、0.14mg/m ³	STEL0.02ppm

保護具

呼吸器用の保護具	必要に応じて有機ガス用防毒マスクを使用。
手の保護具	耐油性(不浸透性)ゴム手袋。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の一部の保護具	静電気防止作業衣、安全靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	透明液体
色	淡黄色
臭い	エステル臭
pH	データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点	データなし
沸点	データなし
初留点	データなし
沸騰範囲	データなし
引火点	-3℃
発火点	酢酸エチル：427℃(自然発火温度)
爆発特性	データなし
蒸気圧	酢酸エチル：12.6kPa(25℃)
蒸気密度	酢酸エチル：3.0(空気=1)

蒸発速度	データなし
比重	データなし
溶解性	水に対する溶解性 酢酸エチル：1mL/20mL 水 (25℃)
オクタノール／水分配係数	酢酸エチル：log pow=0.73
分解温度	データなし
その他のデータ	特になし

10. 安定性及び反応性

安定性	窒素ガス等不活性ガスで置換された密栓容器内においては常温で比較的安定である。
反応性	開放状態では、空気中の湿気と徐々に反応し、表面より固化する。 容器内であっても、湿気や水分が混入してしまった場合は反応により固化すると共に、炭酸ガスを放出するために容器内圧が上昇する。
避けるべき材料	水分、アルコール、アミン類
危険有害な分解生成物	特になし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	トリレンジイシアネート；LD50ラット 3060mg/kg(EHC) 酢酸エチル；LD50ラット 4940mg/kg(PATY) データ不足のため分類できない。
急性毒性（経皮）	トリレンジイシアネート；LD50ラット 10000mg/kg(EHC) データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入）	トリレンジイシアネート；LC50ラット 0.099mg/L(CERI) 酢酸エチル；LC50ラット 13176 ppm (ACGIH) 混合物として区分4（蒸気）に分類される。
皮膚腐食性／刺激性	トリレンジイシアネート；区分1A、 データ不足のため分類できない。
眼損傷／眼刺激性	酢酸エチル；；区分2B、トリレンジイシアネート；2A 混合物として区分2Aに分類される。
呼吸器感作性	トリレンジイシアネート；区分1、 その他データより混合物として区分1に分類される。
皮膚感作性	トリレンジイシアネート；区分1、 その他データより混合物として区分1に分類される。
変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	トリレンジイシアネート；区分2、 その他データより混合物として区分2に分類される。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器 ／全身毒性－単回暴露	酢酸エチル；区分3(気道刺激性、麻酔作用)、 トリレンジイシアネート；区分1(呼吸器、中枢神経系) 上記より混合物として区分3(気道刺激性、麻酔作用)、 に分類される。
特定標的臓器 ／全身毒性－反復暴露	トリレンジイシアネート；区分1(呼吸器、肝臓) データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
その他の情報	データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生急性環境有害性	トリレンジイシアネート；LC50(96hr) 魚類マダヒ 0.153mg/L(CERI) 酢酸エチル；LC50(96hr) 魚類ファットヘッドミノ 230mg/L(SIDS)、

	LC50(24hr) 甲殻類材ジシロ 2500mg/L (SIDS)
	上記より混合物として区分 3 に分類される。
水性慢性環境有害性	混合物として区分 3 に分類される。
残留性／分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃樹脂、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
容器、機器装置等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝へ流さないこと。
焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

1 4. 輸送上の注意

共通	取り扱い及び保管上注意の記載に従う。
陸上輸送	消防法： 危険物第 4 類第 1 石油類 (非水溶性) 容器： 危険物の規制に関する規則 金属製容器 (缶、5L) 注) 容器は危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める 容器試験基準に適合していることを自主確認すること。
	容器表示： 一 危険物第 4 類第 1 石油類 (非水溶性液体) 二 危険等級 II 三 火気厳禁
	積載方法： 運搬時の積み重ね高さは 3m 以下
	輸送の特定の安全 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
	対策及び条件：
海上輸送	その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの)
航空輸送	その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの)
国連分類	クラス 3 引火性液体
国連番号	1993
容器等級	II

1 5. 適用法令

安衛法	
通知対象	酢酸エチル、トリレンジ イソシアネート
表示対象	酢酸エチル、(トリレンジ イソシアネートは 1% 未満のため対象外)
特化則	(トリレンジ イソシアネートは 1% 以下のため対象外)
有機則	第 2 種有機溶剤 酢酸エチル
化学物質管理促進法	(トリレンジ イソシアネート 1% 未満のため対象外)
毒劇物法	非該当
消防法	危険物第 4 類第 1 石油類 (非水溶性)
化審法 優先評価化学物質	トリレンジ イソシアネート
危険物船舶運送及び貯蔵規則	その他の引火性液体 (他の危険性を有しないもの)

1 6. その他の情報

主な引用文献
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ GHS 分類結果データベース
厚生労働省 職場のあんぜんサイト

経済産業省 GHS 混合物分類判定システム

原料・材料メーカーの SDS

国際化学物質安全カード (ICSC)

日本工業規格 JIS Z 7252:2019「GHS に基づく化学品の分類方法」, JIS Z 7253:2019「GHS に
基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
危険物船舶運送及び貯蔵規則 海文堂

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。 又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
